

海域	経過 (1~3月)	現況 (4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4月下旬~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸； 青森水総研 発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定地水温：1月は平年並み、2月、3月は平年並み~やや低めであった。</li> <li>・3月の津軽暖流の水温はやや高め、水塊深度は平年並み、津軽暖流の東方への張り出しははなはだ東偏。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定地水温は平年並み~やや高め</li> <li>・4月の対馬暖流域の水温は0mでやや高め、50mではなはだ低め、100mで平年並み（日本海海洋観測結果）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FRA-ROMSでは、尻屋沖で平年並み、鮫角沖でやや高めの予測となっているため。</li> </ul>	特になし

<p>三陸中部 (岩手県 沿岸； 岩手水セ 発表)</p>	<p>1月：荒天のため欠測。 2月：2/8～2/9 《表面水温》 10海里以内は0～7℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「極めて低い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線で「平年並」～「極めて低い」、椿島定線で「やや低い」～「低い」となった。 10海里以遠は0～6℃台であり、黒埼定線で「低い」～「極めて低い」、トドヶ埼定線で「極めて低い」、尾埼定線で「やや低い」～「極めて低い」、椿島定線で「平年並」～「極めて低い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は2～7℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや低い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線で「やや低い」、椿島定線で「平年並」となった。 10海里以遠は1～7℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「低い」、トドヶ埼定線で「低い」、尾埼定線で「平年並」～「低い」、椿島定線で「平年並」～「やや低い」となった。</p> <p>3月：3/1～3/9 《表面水温》 10海里以内は0～6℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「極めて低い」、トドヶ埼定線で「極めて低い」、尾埼定線で「低い」～「極めて低い」、椿島定線で「やや低い」～「極めて低い」となった。 10海里以遠は0～6℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「低い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「極めて低い」、尾埼定線で「やや低い」～「低い」、椿島定線で「低い」～「極めて低い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は1～5℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「低い」、トドヶ埼定線で「低い」、尾埼定線で「低い」～「極めて低い」、椿島定線で「やや低い」となった。 10海里以遠は1～6℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「低い」、尾埼定線で「やや低い」～「低い」、椿島定線で「やや低い」～「低い」となった。</p>	<p>4月：4/6～4/7 《表面水温》 10海里以内は2～7℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや低い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「低い」、尾埼定線で「平年並」、椿島定線で「やや低い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は1～7℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「極めて低い」、尾埼定線及び椿島定線で「平年並」～「やや低い」となった。 ※荒天のため10海里以内の観測となった。</p>	<p>予測される5月の水温は、沿岸10海里内の100m深はトドヶ埼定線で「やや低い」、黒埼、尾埼、椿島定線では「平年並」。各0海里定点の10m深は、全ての定点で「平年並」。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>親潮系冷水が接近し、越喜来湾口に設置された水温計では5℃以下の水温を44日連続(2/18～4/2)で観測した。</p>
---	--	---	--	---	--

<p>三陸南部 (宮城県沿岸； 宮城水セ発表)</p>	<p>【1～2月】海況悪く欠測となった。 【3月】親潮の南下による冷水の波及を受け、宮城県沿岸の表面水温、100m 深水温は平年と比べ、表層で2～4℃、水深100mで2～5℃低め。</p>	<p>【4月】(4/6～4/20) 親潮の南下による冷水の波及を受け、宮城県沿岸の表面水温では5～10℃、100m深水温は4～6℃台となっています。平年と比べ、表層で1～3℃、水深100mで1～2℃低め。</p>	<p>142°30'以東を親潮系冷水が南下しており水深100mでは最大4℃低めだが、仙台湾南部には黒潮系暖水が波及し、表層で2℃程度高めとなる見込み。</p>	<p>FRA-ROMSによる。</p>	<p>コウナゴが3年振りに水揚げされ、2019年の71トンに対し、4月上旬時点で水揚げ量は22.4トン(対2019年：31.5%)となっていた。</p>
<p>常磐北部 (福島県沿岸； 福島水海セ発表)</p>	<p>100m深 【1月】 県北、県中は悪海象のため十分に観測できず。 県南沿岸は「平年並み」  【2月】 県北沿岸は「平年並み」 県中沿岸は「平年並み」 県南沿岸は「やや高い」  【3月】 県北沿岸は「低い」 県中沿岸は「低い」 県南沿岸は「低い」  ※県北：37°50'N、県中：37°25'N 県南：37°00'N 沿岸：142°00'E以西</p>	<p>100m深 【4月上旬～中旬】 県北沿岸は「平年並み」 県中沿岸は「やや低い」 県南沿岸は「やや高い」</p>	<p>【5月】 「平年並み」 【6月】 「平年並み」</p>	<p>気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(4月20日発表)によると、5月20日までの本州東方の海面水温は「平年並か平年より高い」見込みであり、親潮南限位置は「41°N、143.5°E付近になる」見込みであり、「面積は平年より小さいか、平年よりかなり小さい」と予測されている。 また、FRA-ROMSによる100m深水温の予測によると、5月の福島県海域では平年より1～4℃低い領域と平年より1～4℃高い領域が混在する予測となっており、県北では平年より低く、県南では平年より高い傾向が読み取れる。 これらを総合し、5月、6月はともに「平年並み」で推移すると予測する。</p>	<p>【3月】 スケトウダラ漁獲量が8,404kgと近年の中では多い(令和3年3月317kg、令和4年2月2,617kg)。ソウハチ漁獲量が26,396kgと近年の中では多い(令和3年3月7,714kg、令和4年2月3,990kg)。スルメイカ漁獲量が2kgと近年の中では少ない(前年3月1,215kg、令和4年2月1,198kg)。</p>
<p>常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸； 茨城水試発表)</p>	<p>【1月】暖水波及が断続的に発生し、茨城県沿岸の水温は平年と比べ、0～100m深で「平年並～やや高め」であった。 【2月】暖水波及が断続的に発生し、平年差は0～100m深で「平年並～やや高め」であった。 【3月】暖水波及によって鹿島灘は広く暖水に覆われたが、常磐南部は親潮第1分枝が南下した。平年差は、表層で「平年並～やや高め」、100m深で「やや低め～高め」であった。</p>	<p>黒潮からの暖水波及の影響を受け、茨城県沿岸の表層の水温は12～19℃、100m深水温は11～16℃台となった。平年差は、0～100m深で「平年並～高め」であった。</p>	<p>黒潮からの暖水波及の影響が継続し、表層で「やや高め～高め」、底層で「平年並～高め」となる見込み。</p>	<p>FRA-ROMSによる。</p>	

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部 距岸10海里内	三陸中部 距岸10～70海里	三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
-----------	------	-----------------	-------------------	------	------	----------

極めて高い (2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い (2.5%)	-3.3℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

1991年1月～2020年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している